大衆日報

大衆日報社
発行責任者：柳川明彦
銚子市春日町3218-1
電話 0479(25)0030
FAX 0479(25)1100
電子メール
taishunippo@wine.ocn.ne.jp
購読料1カ月1,800円
郵送1カ月2,700円

ガラスリソーシングを表彰！

銚子 税務署が「優良申告法人」として

適正な申告・納税に深く敬意表して

「更に邁進」と心に誓う伊藤憲一会長

左から赤坂修社長、伊藤憲一会長、山本厚三・銚子税務署長、加瀬昇一・加瀬会計事務所長、伊藤孝展副社長、関岡嘉彦副署長

表敬状
優良申告法人
ガラスリソーシング㈱
代表取締役
伊藤憲一殿

貴社から提出された近年の法人税・消費税の申告等は申告納税制度の本旨に即した内容のものと認められ、ここに深く敬意を表します。今後とも適正な申告と納税をされることを期待するとともに併せて貴社の御発展を念じております。

平成二十九年六月一日
銚子税務署長
山本厚三

山本厚三・銚子税務署長が感謝を込めて表敬状の文言を読み上げ、ガラスリソーシング㈱の伊藤憲一・代表取締役会長に「表敬状」を贈呈

山本厚三・銚子税務署長がガラスリソーシング㈱の伊藤憲一・代表取締役会長に「表敬状」を贈呈

憲一・代表取締役会長に贈呈すると、その瞬間、伊藤会長は表情をキリリと引き締め、「優良申告法人としての責務を更に果たしていく」と決意も新たに…。

国税庁が認定

銚子税務署の山本署長をはじめ幹部職員らは6月1日（木）、ガラスリソーシング株式会社本社（銚子市春日町）を訪れ「優良申告法人」として表敬状を贈呈した。表彰理由は「適切な申告と納税を行ない、かつ経営内容が優良と認められ、表彰要件を満たした上で国税庁が認定する」というもの。銚子市・旭市・匝瑳市の3市を管轄する銚子税務署管内の法人は約3700社あり、現在までに優良申告法人として22社が表彰を受けており、全法人の1%にも満たない。

表彰を受けた伊藤憲一会長は、「弊社は平成10年に創業し、現在19年目に入っています。ガラス瓶のリサイクル事業ということで、年々業績を伸ばし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これからますます弊社への需要は高まると見ております。国民に必要とされ喜ばれ、環境にも優しい事業を展開して利益を上げ、会計事務所の加瀬昇一先生のご指導のもと、適切な申告・納税期内納税を行ない、銚子税務署様から表彰を受ける…身に余る光栄に存じます」と感謝探げた。

1都11県のリサイクル請け負う

東京五輪に向けますます需要高まる

「サンドウエーブG」も引っ張りダコ！

ガラスリソーシング㈱は1都1県のガラス製品のリサイクル事業を展開。本社は銚子市春日町に置き、支店が成田市と横浜市に、工場は本社工場の他に銚子市長山町と成田市の2箇所の合計4ケ所に設けている。創業地の銚子市を本拠地に、舌ん兵衛の皆さんが常日頃お世話になっているサントリー・宝酒造をはじめ成田空港・羽田空港・JR東日本・東関東自動車道などでリサイクル事業を請け負い、年々成長を続けている。近年はリサイクルガラス粉砂を活用した「サンドウエーブG（国交省NETIS）」を開発し、用水貯留浸透施設やヒートアイランド抑制工事、防草施設などの建設に幅広く利用されている他、山砂の代替材としても引っ張りダコの状況だ。

女手一つで育った伊藤会長

伊藤会長は、

「父を早くに亡くしたため、私と姉を母が苦労して育ててくれ、その背中を見てきました。15歳でビタ多醤油に入社し、会社の賜い飯が『旨い、ウマイ』とたくさん食べです」と会社誕生の秘話も明らかに。さらに、

「ゴミとなってしまう資源をリサイクルするこの仕事は、やってもやってもどんどん運び込まれてくるのが特徴で、業者が限られている上に、東京当たりでは周辺への騒音を配慮して午後4時半にはストップしなければなりません。弊社の成田工場は工業団地にあるため24時間操業が可能。これからも求めに応じて、国の制度も活用しながら皆さんに喜ばれる事業で利益を上げつつ、適正な申告・納税につとめてまいります」

とキッパリ断言した。

関岡嘉彦・銚子税務署副署長が赤坂修・ガラスリソーシング㈱代表取締役社長に記念品を贈呈

日本一が大好きな伊藤会長

赤坂修・代表取締役社長は、

「伊藤会長は、誰より日本一が好きな人。美しい環境づくりに貢献する事業を通して、日本一のガラスリサイクル会社を育てて利益を上げる。そして国民の義務である納税をする、我々はただただ一生懸命やるだけです」

と話してくれた。

表敬状を贈呈した山本厚三・銚子税務署長は、

「銚子税務署としては、ガラスリソーシング様のように利益を上げ、適正な申告・納期内納税をしてくださる法人は、願ってもない優良企業でございます。これからも事業に邁進していただき、社会に貢献を続けてくださればと幸甚です」

と感謝の意を表した。